

「ファミリーソング・シンガーとして頑張っています」

高校 34 期 山野さと子（歌手・声優）

レコード会社主催のアニメソングコンテストでグランプリをいただいてから半年たった八尾高2年の秋、私はアニメソング歌手としてデビューしました。テレビから流れる自分の歌を初めて耳にした時のあの不思議な感覚は、今もはっきりおぼえています。でも、当時は自分が歌手だという自覚もなく、こんなに長い間歌い続けてこられるなんて思いもませんでした。

学校が終わってから、セーラー服のまま新幹線に飛び乗り、レコーディングのたびに東京と大阪を往復したことも、富士山を眺めながら試験勉強をしたことも、今となってはいい思い出です。

将来は英語を生かす仕事につきたい、と思っていたので、八尾高から 大阪女学院短期大学英語科に進みました。ところが2年になったある日、レコード会社から「卒業後、東京に来ないか」というお話があり、その時初めて、仕事として「プロ歌手」というものを意識しました。

当時はアニメソングの全盛期、アニメ歌手や声優の存在が注目を集めている頃でしたが、自分がそんな道に進むなんてことは考えたこともありませんでした。

そんな私の気持ちを変えたのは、夏休みに1ヶ月間ホームステイしたサンディエゴで見た広い青空。失敗してもいいから、人生で1度ぐらいは、人にはできないことにチャレンジしてみよう！なぜだか急にそう思ってしまったのです。もともと好奇心旺盛だったので、そう決意できたのかもしれない。



女学院卒業後 すぐに上京し、同時にアニメ「とんがり帽子のメモル」の主題歌を歌うことになり、少しずつ、イベントやコンサートなどをするようになりました。でもまだまだ自分としては一人前ではなく、つらいことや悔しいこともたくさんあったように思います。それでも毎日が楽しかったのは、やりたいと思うこと後から後から湧きあがり、何よりも「歌うことが好き」という気持ちでいっぱいだったからではないでしょうか。

~~~~~ . ~~~~~

プロ歌手としての自覚や自信がやっと持てるようになったのは、上京して3年目。NHK 教育テレビ「ゆかいなコンサート」のおねえさんとしてレギュラー出演、子供たちに少しずつ知られるようになってきた頃だったと思います。

「メイプルタウン物語」「ウルトラマンキッズ」「ドラえもん」「ひとりでできるもん！」など、たくさんのアニメ主題歌を歌うチャンスにも恵まれ、アニメ声優をしたり、こどもミュージカルに参加したり、“おかあさんといっしょ”や“ディズニー”のイベント出演、こども番組の司会・・・レコーディングは、童謡から運動会・おゆうぎ会の歌まで、現在では900曲を超えました。

最近講師として、保育士の方や幼稚園の先生に手遊びを指導する仕事も増え、それを機に幼児教育の勉強をしたくなって、数年前には玉川大学通信教育科で幼稚園教諭免許も取りました。年に何十回も行うファミリーコンサートでは、元気でかわいい子供たちのキラキラ輝く瞳や、お父さまお母さまがた、先生がたの笑顔に会うことができ、いつも私のほうがみなさんからたくさんのパワーをもらって帰ります。



自分の仕事が好き、といえる私は本当に幸せです。でも、ここまでやってこられたのは、決して自分の力でだけではなく、支えてくれる家族、まわりのスタッフや友人に恵まれているからだと思っています。そしてもうひとつ、「やるとなったらとことんやる！」この、八尾高時代に培われた負けん気魂のおかげなのではないでしょうか。～これからも 歌う喜びを感じつつ、ファミリーソングシンガーとして、 笑顔をたやさず、みんなが笑顔になれるような歌を歌っていきたいな～今、自分を振りかえり、あらためてそう思っています。

ホームページは下記の通りです。

<http://www.alice-family21.com/artist/satoko/index.html>